

1 3. 輸血製剤廃棄率

算式

$$\frac{\text{【分子】 廃棄赤血球製剤単位数}}{\text{【分母】 使用輸血赤血球製剤単位数 + 廃棄赤血球製剤単位数}}$$

定義

輸血用血液・血液製剤のうち廃棄された血液・血液製剤の割合

指標の解説

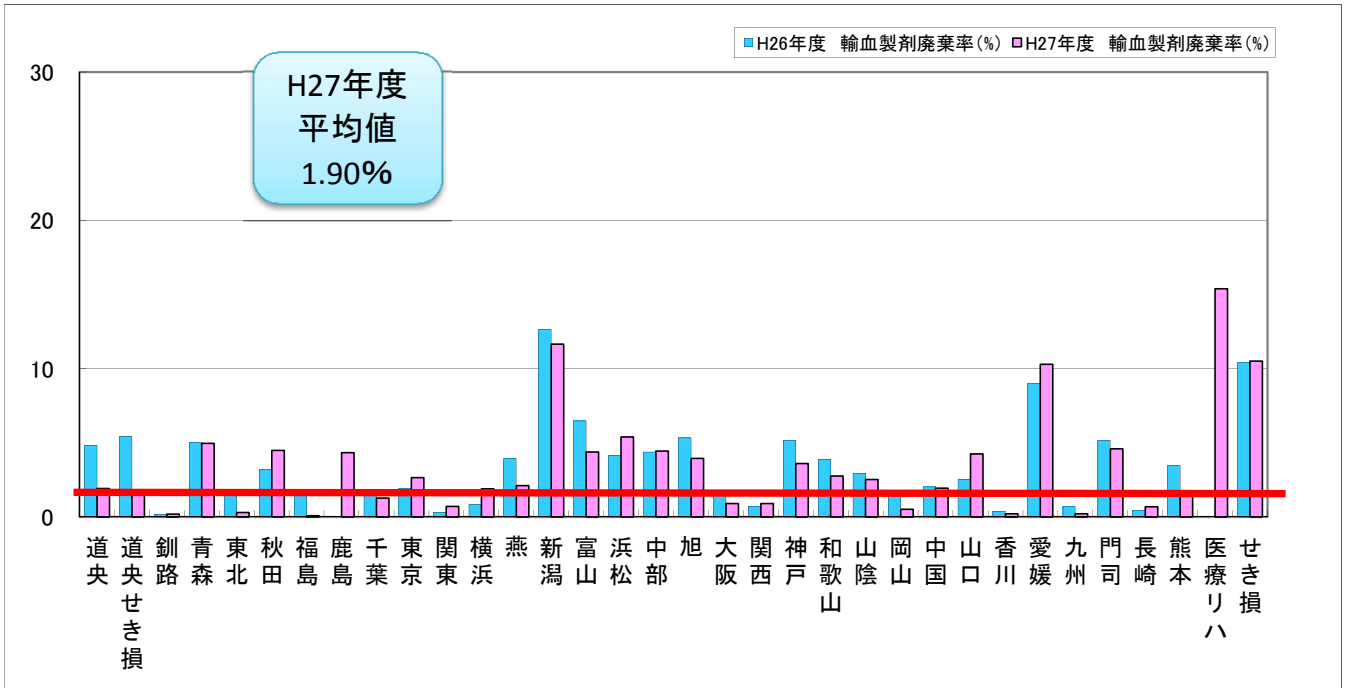
施設調査より抽出

医療資源の有効活用に関して、輸血用血液の適切な管理・使用状況について輸血製剤の廃棄状況から評価する。

廃棄率が低い場合には、輸血製剤が適切に管理・使用されていると評価できる。

(注) 当該指標については、病院と血液センター間の距離が影響しており、都市部（輸血センターから近距離）と地方（輸血センターから遠距離）の病院で大きく差が出る傾向にあります。また、地方の病院においては、不測の事態に備えて血液製剤をストックしておく必要があるため、結果として廃棄率が高くなる傾向にあります。

1.3. 輸血製剤廃棄率



No	施設名	H26年度			H27年度		
		分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)	分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)
1	道央	949	46	4.85	620	12	1.94
2	道央せき損	406	22	5.42	353	6	1.70
3	釧路	4,181	8	0.19	4,906	10	0.20
4	青森	1,905	96	5.04	2,012	100	4.97
5	東北	2,462	42	1.71	2,520	8	0.32
6	秋田	872	28	3.21	779	35	4.49
7	福島	1,599	24	1.50	1,900	2	0.11
8	鹿島	136	0	0.00	230	10	4.35
9	千葉	4,073	68	1.67	4,647	60	1.29
10	東京	2,168	42	1.94	1,733	46	2.65
11	関東	5,619	19	0.34	7,216	52	0.72
12	横浜	5,626	48	0.85	5,668	108	1.91
13	燕	1,626	64	3.94	1,505	32	2.13
14	新潟	1,537	194	12.62	1,329	155	11.66
15	富山	1,048	68	6.49	1,138	50	4.39
16	浜松	1,985	83	4.18	2,168	117	5.40
17	中部	2,546	112	4.40	2,378	106	4.46
18	旭	1,312	70	5.34	1,388	55	3.96
19	大阪	5,453	98	1.80	6,358	58	0.91
20	関西	8,782	64	0.73	10,016	91	0.91
21	神戸	1,468	76	5.18	1,305	47	3.60
22	和歌山	2,464	96	3.90	2,769	77	2.78
23	山陰	4,222	124	2.94	3,618	92	2.54
24	岡山	3,194	46	1.44	3,728	20	0.54
25	中国	2,053	42	2.05	1,948	38	1.95
26	山口	2,442	62	2.54	2,062	88	4.27
27	香川	4,131	16	0.39	4,276	10	0.23
28	愛媛	1,044	94	9.00	952	98	10.29
29	九州	4,026	28	0.70	4,292	10	0.23
30	門司	890	46	5.17	738	34	4.61
31	長崎	2,576	12	0.47	2,265	16	0.71
32	熊本	3,758	130	3.46	3,502	62	1.77
33	医療リハ	96	0	0.00	26	4	15.38
34	せき損	96	10	10.42	76	8	10.53
合	計	86,745	1,978	2.28	90,421	1,717	1.90
平均	500床以上	5,081	64	1.26	5,693	71	1.24
	400床以上	3,386	44	1.31	3,443	29	0.85
	300床以上	2,376	76	3.18	2,412	69	2.85
	200床以上	1,116	60	5.33	997	44	4.45
	200床未満	184	8	4.36	171	7	4.09